

(公財)京都市音楽芸術文化振興財団	中期経営計画 (平成27年度～平成29年度)
-------------------	---------------------------

### 1 「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る各団体の「今後の方向性(存続, 自律化, 解散及び統合)」と「目標年度」を記載する。団体経営の長期的な目標であり, 「中期経営計画」はこれらを実現するための工程表である。

方向性	存続	目標年度	—
-----	----	------	---

### 2 「今後の方向性」に向けた基本的方針

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る各団体の「今後の方向性」を実現するため, 業務面や財務面等についての基本的な方針を定める。「今後の方向性」が「自律化」の団体については, 「目標年度」までの方針となる。

業務面	<p>『文化芸術プロフェッショナル集団としての真価』をスローガンとし, 以下を重点方針とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 「世界的な文化芸術都市・京都」の音楽芸術・舞台芸術を牽引</li> <li>② 地域の文化力の更なる向上に貢献</li> <li>③ 文化芸術ネットワークのハブ機能を発揮して文化芸術活性化インフラを形成</li> </ul>
財務面	<p>管理運営施設の経営を総合的かつ安定的に展開し, 経営基盤の強化と市場競争力を発揮するため以下のことに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 中期的な収支の見通しに基づく財務戦略の展開</li> <li>② 財務運営の継続的な見直し</li> <li>③ ファンドレイジング(資金調達)の取組促進</li> </ul>
組織面	<p>管理運営施設の経営を総合的かつ安定的に展開し, 経営基盤の強化と市場競争力を発揮するため以下のことに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 経営自立化の推進</li> <li>② 組織人員体制の整備</li> <li>③ 人事・給与制度の更なる改革</li> <li>④ 危機管理体制の再構築</li> </ul>
その他	特になし

**3 基本的方針を実現するための具体的取組(3年間の計画期間中における具体的取組)**

- ① 「2 「今後の方向性」に向けた基本的方針」を実現するための具体的取組を記載する。
- ② 取組ごとに、各年度の目標となる指標及び目標値を設定する。
- ③ 計画期間の最終年度(平成29年度)の目標値が中期経営計画全体の目標値となる。

**(1)業務に関する取組**

<b>目標 「各施設の利用促進」</b>						
<b>取組内容</b>	<p>「世界的な文化芸術都市・京都」の音楽芸術・舞台芸術を牽引し、ホールの魅力の向上と地域の文化力の更なる向上に貢献するため、管理運営施設の利用促進を図る。平成28年1月にはロームシアター京都がオープンすることから、利用料金収入の増加を見込む。</p>					
<b>○指標</b>	施設利用料金収入					
<b>採用理由</b>	施設利用料金収入は地域の文化芸術活動の実施状況等に直結するため					
<b>目標値</b>	<b>H25(実績)</b>	<b>H26(見込)</b>	<b>H27</b>	<b>H28</b>	<b>H29</b>	(単位：千円)
	418,138	434,146	487,015	695,815	695,815	
<b>実現方法</b>	各ホールの機能強化、コーディネイター機能の向上及び地域のニーズなどの情報収集により、利用促進を図る。					

**(2)財務に関する取組**

<b>目標 「サポーター・パートナー制度」</b>						
<b>取組内容</b>	<p>中期的な収支の見通しに基づき、財務運営の継続的な見直しを行うほか、財団の活動のために必要となる資金の調達を強化するため、新たな会員制度(京都コンサートホール及びロームシアター京都のサポーター・パートナー制度)を開始し、ファンディング(資金調達)の取組を進める。</p> <p>平成27年度はロームシアター京都(京都会館)がリニューアルオープンすることに伴い、内覧会や開会記念式典への御案内等、当該年度ならではの特典を用意することなど通常年度より特に会員収入が見込めることから、10,000千円の目標設定をしている。</p>					
<b>○指標</b>	サポーター・パートナー会員収入(単年度)の目標値					
<b>目標値</b>	<b>H25(実績)</b>	<b>H26(見込)</b>	<b>H27</b>	<b>H28</b>	<b>H29</b>	(単位：千円)
	—	5,000	10,000	5,000	5,000	

**(3)組織に関する取組**

<b>目標1 「適正な執行体制の維持」</b>						
取組内容	<p>経営の自立化を推進するとともに、平成28年1月のロームシアター京都のオープンに向け、財団全体の職員の定数管理を行う。</p> <p>また、平成25年度から導入した人事給与制度の更なる改革に向け取組を進めるほか、災害等を想定した危機管理体制について再整備を行う。</p> <p>「はばたけ未来へ！京プラン」に掲げられている、常勤役員への就任については、平成26年度に見直しを実施した。</p>					
○指標	財団職員定数					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	(単位：人)
	165	167	189	189	189	

<b>目標2 「京都市からの派遣職員の削減の検討」</b>						
取組内容	<p>京都市からの派遣職員については、財団と市が事業等で密接に関連しており、一定の公共性を確保したうえで、円滑に施策を推進するために必要最低限の人員の派遣を受けているところである。</p> <p>現在、ロームシアター京都（京都会館）に関する事業等により、当面の人員削減は困難だが、中期経営計画を推進する中で、より自立的な経営体制の構築に向け、財団の運営状況や事業の進捗を見極めながら、将来的な組織の在り方や人員体制、人材育成等について検討する。</p>					
○指標	京都市派遣職員数					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	(単位：人)
	95	96	98	98	98	